

# 新人看護職員研修だより

公立甲賀病院 看護部 教育委員会 新人看護職員研修

2012/07/01 第1号

## 研修にあたり

公立甲賀病院では、平成21年7月の「保健師、助産師、看護師法及び看護師等の人材確保の推進に関する法律」の改正による看護職員の臨床研修等が努力義務化となったのを受け、平成22年度より新人看護職員研修を実施しています。

## 研修方法・内容

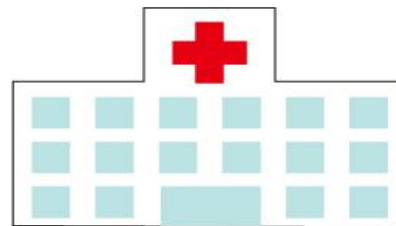
集合教育と配属部署での現任教育を組み合わせ実施しています。

## 対象人員

- 平成22年の新人看護職員 (院内：17名)
- 平成23年の新人看護職員 (院内：21名)
- 平成24年の新人看護職員 (院内：17名)

☆ 甲賀圏域の4病院からも新人看護職員の研修受け入れをしています。

- 平成23年10名  
(水口病院5名・甲南病院4名・生田病院1名)
- 平成24年21名  
(水口病院:17名・甲南病院:3名・甲西リハビリ病院:1名)



## 配置場所

A3病棟:3名 A4病棟:3名 B3病棟:2名  
C2病棟:2名 C3病棟:2名 D3病棟:2名  
D4病棟:3名



## 平成24年度 新人看護職員研修 年間プログラム

研修項目	4月	5月~6月	7月~8月	9月~10月	11月~12月	1月~2月	3月
・組織における役割と心構え、適切な行動	・新採用者オリエンテーション 病院の沿革、病院職員の心構え、諸規則、医療安全、感染管理、防災対策・etc						所属決定
・看護職員として必要な基本姿勢と態度	・看護部の理念、 ・組織、看護体制 ・看護職員としての心構えと、責任ある行動 ・卒後研修制度と年間研修計画・接遇、患者サービス	実践の振り返り		実践の振り返り	実践の振り返り	実践の振り返り	実践の振り返り ☆研修目標 習得度最終評価
・技術的側面	看護技術研修 パート1 <採血・与薬・点滴...etc>	看護技術研修 パート2 <人工呼吸器・心電図・輸血療法・蘇生取り扱い～二次救命救急>		☆看護技術習得 中間評価 夜勤勤務、災害時の対応について	急変時の看護 フィジカルアセスメント		☆看護技術習得 最終評価
	感染管理 パート1 ・感染管理の基本的な考え方 ・院内感染防止方法の実践			感染管理 パート2 ・事例から感染対策方法を学ぶ		感染管理パート3 ・事例から感染対策方法を学ぶ	
			ローテーション研修 (7月～10月) 外科・内科・救急外来において交代に研修する。ローテーション研修 OI, 6月末実施		夜勤勤務体験(導入)		
			各配属部署で必要な看護技術の習得を継続して行う				
・管理的側面	安全管理の基本 ・感染管理、医療安全 防災対策...etc	医療安全の基本的考え ・医療安全パート1 <危機の構造>		医療安全パート2 ・RCA法による事例分析法	医療安全パート3 ・体験事例から学ぶ		
	情報管理 <電子カルテ操作・看護記録>	薬剤管理<医薬品と医療安全> (全体研修へ参加必須)		看護必要度について	防火訓練 (新人職員対象)		
・リフレッシュ・フォローアップ研修	・メンタルサポート研修 ・入職1ヶ月 フォローアップ研修	・入職2ヶ月研修 フォローアップ研修		・入職5ヶ月リフレッシュ <院外宿泊研修>	・フォローアップ研修 <ローテーション研修まとめ>		1年間の研修 まとめ (自己の振り返りと課題)

## 新たな第一歩を踏み出して

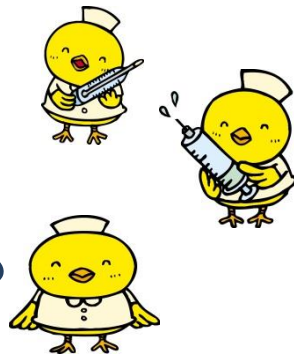


### D3:M・N

新人研修を受けてさまざまな看護技術や知識を学びました。Wチェックの大切さや基本に忠実にを行うことで患者さんに安全で安楽な看護を提供して行く事の大切さを学びました。今後は、働いていくなかでいつでも原点に戻り、患者さんのために「何ができるのか」「何が必要なのか」を考え先輩方のように患者さんからスタッフの方からも信頼される看護師として働いて行きたいと思えます。

### D4:R・I

患者さんに援助する技術というのは、沢山あり1つ1つが命と隣接しています。その技術を、正しく習得することの重要性を研修で学びました。研修で学んだことを、実際に患者さんに実施させて頂くときは、危険に繋がるリスクを伴うことを、意識して実施しなければなりません。看護師という職業について以上は、命に責任をもって患者さんに接していけるように、これからも勉強していきたいと思えます。



## 滋賀県看護協会の新人研修に参加して

### C2:R・M

研修に参加して意識改革できたのは、自分自身がチームの一員であることを自覚するのが何より大切であるということである。新人であるが一員としてチームの状況を考え行動するのは組織のあり方としても重要である。それだけでなく周囲を知ることは、自分の視野を広げることに繋がる。つまり自分の成長にとっても大切である。しかし、新人である我々は、まだまだ分からないことが多々ある。知らないまま行動するのは、患者さんの安全・安楽を阻害する可能性がある。そのため重要なことは、最も基本である報告・連絡・相談である。これらを徹底し安全・確実に努めることが患者さん、そして自分自身を守るために重要であると感じた。



### 新人看護師の研修風景





## 実地指導者より：集合教育を担当して



A 4 : M・M

点滴・静脈内注射についての技術研修を担当した。院外からの新人看護職員の参加もあり、研修内容についてどのような工夫を行えば統一した知識・技術を習得してもらえるかという点で、指導案を作成した。技術を習得しやすいようにルート確保や点滴の敵下速度合わせなどの技術練習の時間を多く確保し、実施した。新人看護職員がお互いに情報交換を行い一つの技術をじっくりと練習できるように時間配分を考慮した。点滴・注射の技術は、手技が困難であり指導する側も慎重に行った。今回の研修を終えて正確な技術・知識を伝えることが新人指導を行っていく上でいかに重要であるかを学んだ。



## 新人看護研修に携わって

理学療法士：T・T

今年も甲賀の地で働く多くの看護師さんが移乗研修に参加してくれました。毎年、前半は講義、後半は実技で進めています。可能な限りわかりやすく、楽しくできることを心がけました。移乗動作は、看護師さんが離床を進めていく上で、または患者さんのADLを介助していく上で不可欠な動作です。ですが力任せの介助は、腰痛を招きます。現に、看護師さんの腰痛発症率は、英国では59%(1979)、スウェーデンでは46.8%(1976)、中国では77.9%(1994)、フィンランドでは81%(1984)、ニュージーランドでは70%(1985)、日本では76%(1994)という報告があります。看護師や介護士の腰痛発症率は他の職業に比べ高いということもよく知られています。諸外国は、腰痛という問いに対して、一人で患者を持ち上げてはならないこと、持ち上げに協力者が得られない場合はホイストのような持ち上げ支援補助機器を使用する、医療従事者の患者取り扱い講習会参加義務などに関する規制が1993年に施行されているようですが、日本にはこのような規制は存在しておらず、私たち医療従

事者は自らを酷使するしかありません。研修会は、少しでもこの腰痛発生を防ぐと共に、患者さんが安全・安楽な方法をボディメカニクス技術・福祉用具を紹介しながら進めさせていただきました。今回、このような機会を頂き少しでも力になれること、自分自身の勉強になったことを嬉しく思います。



## 滋賀県看護協会のプリセプターシップ研修に参加して



C 2 : N・K

今回の研修に参加して、普段卒一さんに振り返りをしてもらっているが、プリセプター自身が、振り返りをしていなかったことに気づいた。以前に教えたことは、できなければならないとプリセプター自身がハードルをあげており、できなかったことに対して怒りや落ち込みを繰り返し、正直しんどかった。しかし、研修でまだ入職して3ヶ月でなにもできなくて当たり前ということを聞いて焦らなくていいと感じ、ほっとして気分が楽になった。普段のプリセプターの対応で卒一さんの気持ちや行動が左右されると聞き、ふと我に返った。冷たかったか、厳しかったかなど、今までの対応を振り返り反省した。あまり会話もしておらず、卒一さんの気持ちに添えていなかったこともあり、プリセプターとの間に大きな隔たりがあった。毎日、病院に来てくれることに感謝し一生懸命頑張ってついてきてくれることが、どれだけすごいかなど改めて考えさせられた。今後もこの研修を活かし個々にあった指導を行い、その子らしく成長してもらえたらいいなと思った。



## 教育担当者としての想い

D3 : H・T

昨年は実地指導者をさせてもらい、自分が担当する新人とは意識的に時間をとり関わるようにしてきましたが、他の新人との関りは薄かったように思います。今年度初めて教育担当者をする事になり不安のほうが大きいです。しかし、自分なりに役割を考え思ったことは、実地指導者との違いは「全体にみる」ということです。実地指導者と比べると新人と直接関わる機会は減るかもしれませんが1人1人と定期的に話をする機会をもつようにし、悩みをきいていくだけではなく、課題も問題も一緒に考えていきたいと思えます。また、実地指導者にも、困っていることや悩んでいることがないか相談にのり、1人で抱え込んでいることのないようにしていきたいです。そして情報を共有していくことで統一した指導ができるように、病棟スタッフと連携をとっていくことも教育担当者としての大切な役割であると考えます。

私は「教育担当者」という役割がついていると考えるだけで空回りしてしまうタイプなので、気負わずに1年間実地指導者・新人と共に学んでいく機会をもらったと考え自分自身の成長につなげたいと思えます。



## <今後の新人看護職員研修(集合教育)予定>

・リフレッシュ研修(院外宿泊研修)

: 9月13日(木)～ 9月14日(金)

\*オリエンテーション 8月28日(火)16:00～ B棟2階会議室

・医療安全 パート2 ・夜勤勤務導入に向けて ・接遇

: 10月17日(水) 9:00～17:00 健診棟3階会議室

・感染管理 パート2 ・看護必要度

: 11月2日(金)9:00～17:00 健診棟3階会議室

・医療安全 パート3 ・看護倫理 ・急変時の看護

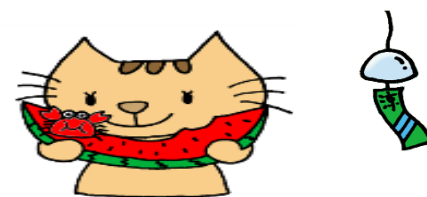
: 11月21日(水)9:00～17:00 健診棟3階会議室

・感染管理 パート3 ・フィジカルアセスメント

: 12月11日(火)13:30～17:00 健診棟3階会議室

・合同研修 : 平成25年1月30日(水)13:30～17:00

健診棟3階会議室



## 編集後記

4月から開始した新人看護職員研修も3か月が過ぎました。新人看護師にとってはまだまだ厳しい道のりですが、健康に留意してそれぞれの描く理想の看護に向かって進んでいきましょう。職員の皆様も暖かく見守ってください。新人研修担当者一同、楽しく実のある研修になるよう企画・運営していきます。

担当: 小林・井上・植西